

黄谷山人书画墨迹

九七

编编

へ13  
3023  
3





一壽齋國貞画

為永春水作

黄金水  
大盡盃  
七編

おひさま

おひさま

歌

田

卜題曲多因画

上

甘泉堂板

歌川國貞画

為永春木作

外題曲三國鳥

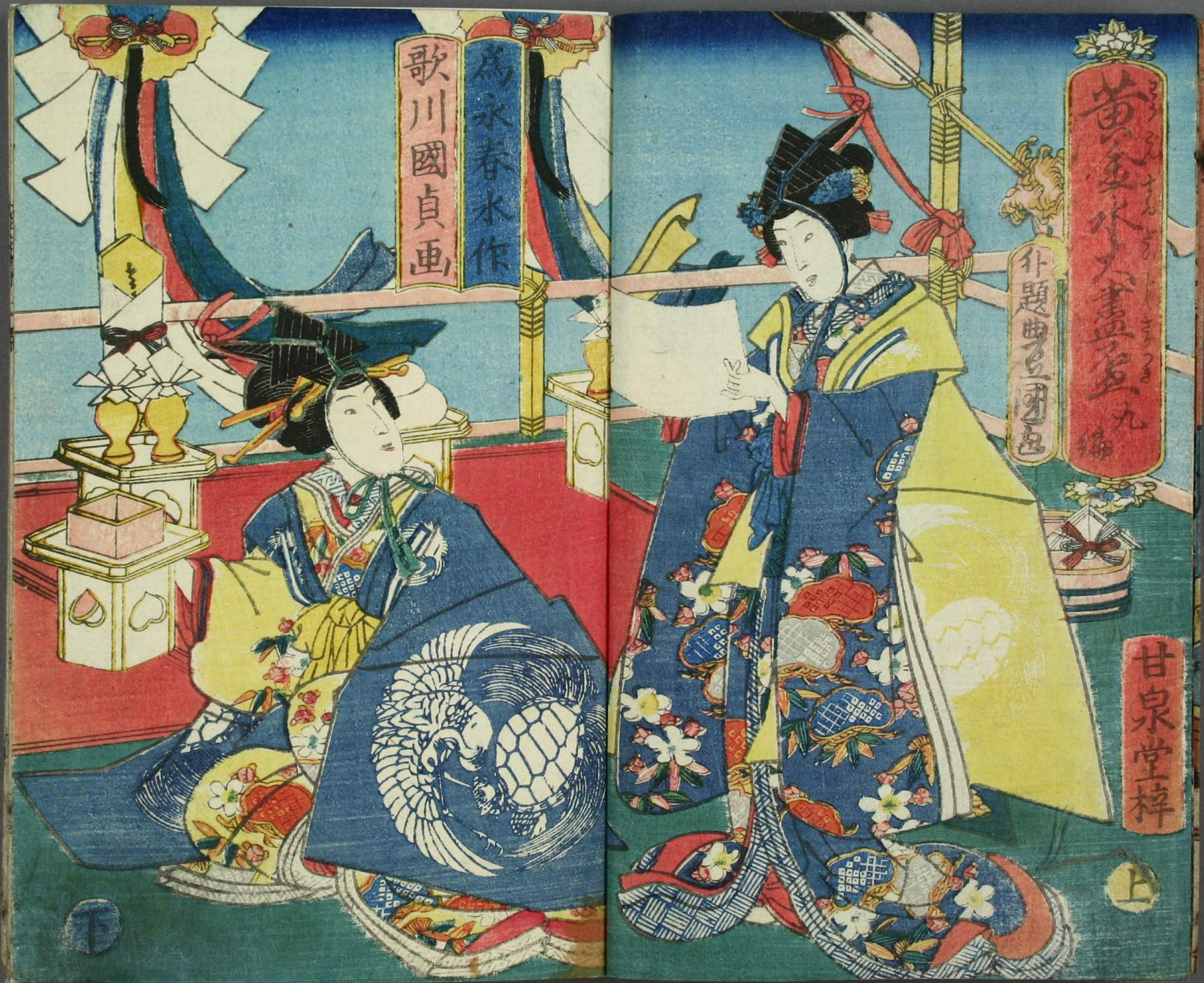


黄金水  
大盡盃  
八篇

甘泉堂梓

上





為永春水作  
歌川國貞画

黄金水大書畫堂九編

外題曲三團包

甘泉堂梓

上



備 元來不學の白癡  
 京風を小窓の下あたりに  
 集りて葛木を腹に巻くも雪積り夜  
 湯豆腐不寝の欲をわが螢撃の  
 名も傳へらるる戯作者の編冊子  
 三本足らぬ猿毛の越筆紀國櫻柑  
 の丸をい呑けと四角を文字と  
 小見さる知らざるあはれ様か  
 とけ小稿成重なる

戊午  
 新給 為永春水誌の

參州矢野真馬  
 長百

3023  
 3

為永の  
 九心海の下  
 為永化  
 國貞畫



可永春水  
 國貞



偽警者  
怒々市  
女児  
鼻月

十一



女房  
阿千世  
名草  
袖吉

十一



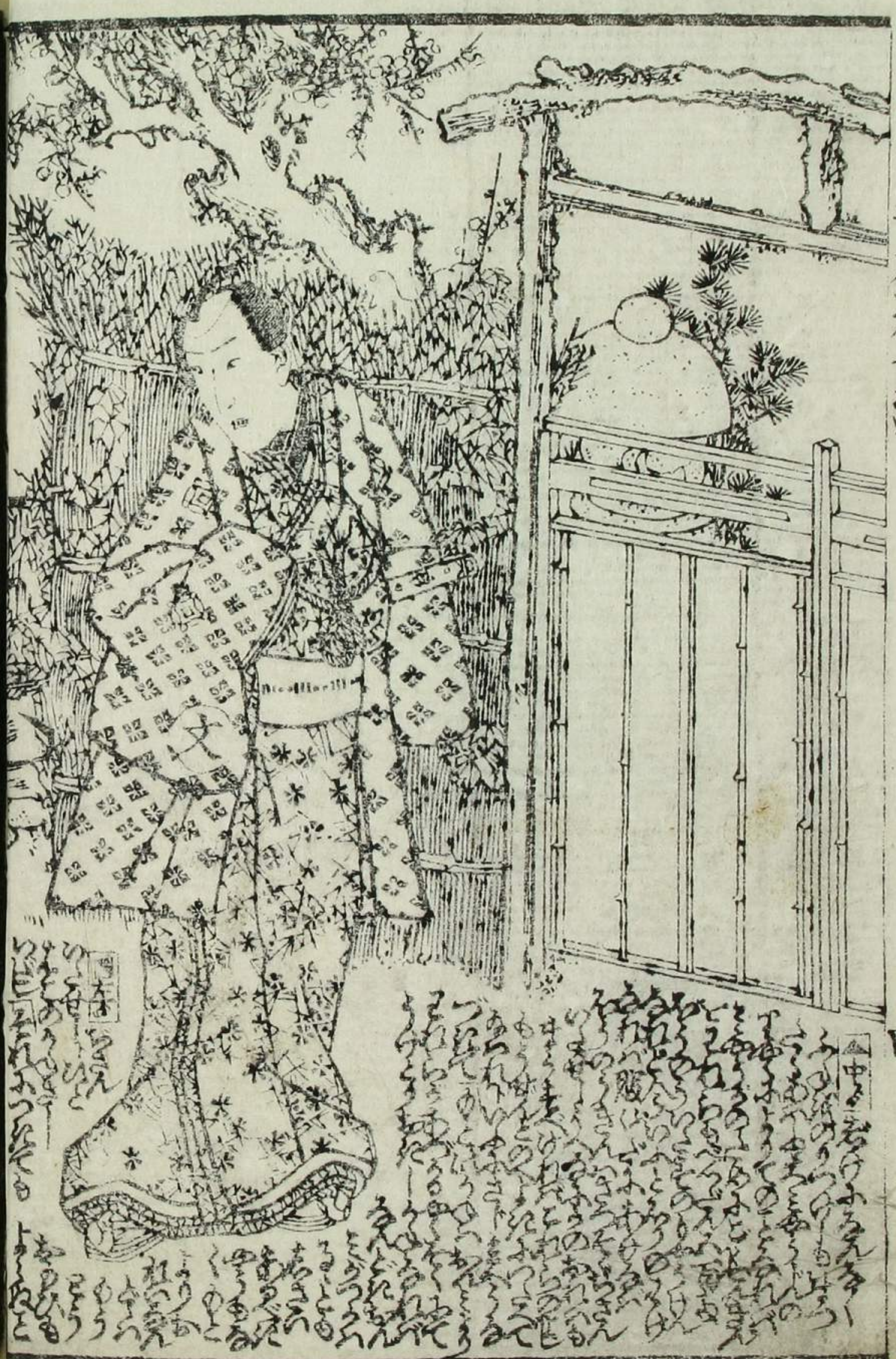






あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに

あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに



あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに  
あつちのうらまへに

吉原が七編

一巻の序  
 下巻の序  
 中巻の序  
 一巻の終  
 下巻の終  
 中巻の終

一巻の序  
 下巻の序  
 中巻の序  
 一巻の終  
 下巻の終  
 中巻の終





各々此の世に生れしは...  
 名も此の世に生れしは...  
 夫れは此の世に生れしは...  
 妻は此の世に生れしは...  
 子は此の世に生れしは...  
 母は此の世に生れしは...  
 父は此の世に生れしは...  
 夫れは此の世に生れしは...  
 妻は此の世に生れしは...  
 子は此の世に生れしは...  
 母は此の世に生れしは...  
 父は此の世に生れしは...



夫れは此の世に生れしは...  
 妻は此の世に生れしは...  
 子は此の世に生れしは...  
 母は此の世に生れしは...  
 父は此の世に生れしは...  
 夫れは此の世に生れしは...  
 妻は此の世に生れしは...  
 子は此の世に生れしは...  
 母は此の世に生れしは...  
 父は此の世に生れしは...

夫れは此の世に生れしは...  
 妻は此の世に生れしは...  
 子は此の世に生れしは...  
 母は此の世に生れしは...  
 父は此の世に生れしは...  
 夫れは此の世に生れしは...  
 妻は此の世に生れしは...  
 子は此の世に生れしは...  
 母は此の世に生れしは...  
 父は此の世に生れしは...



夫れは此の世に生れしは...  
 妻は此の世に生れしは...  
 子は此の世に生れしは...  
 母は此の世に生れしは...  
 父は此の世に生れしは...  
 夫れは此の世に生れしは...  
 妻は此の世に生れしは...  
 子は此の世に生れしは...  
 母は此の世に生れしは...  
 父は此の世に生れしは...







上野のついでに...  
 春水作...  
 貞画...  
 (Vertical text columns describing the scene and the artist's work.)

春水作

春水作  
 貞画



春水作...  
 貞画...  
 (Vertical text columns describing the scene and the artist's work.)

春水作...  
 貞画...  
 (Additional vertical text at the bottom of the illustration.)



巻ノ一ノ一

巻ノ一ノ一

Handwritten Japanese text in kuzushiji script, arranged in vertical columns. The text is dense and covers most of the page area, interspersed with the illustration.

Handwritten Japanese text in kuzushiji script, arranged in vertical columns. The text is dense and covers most of the page area, interspersed with the illustration.





世に...

世に...

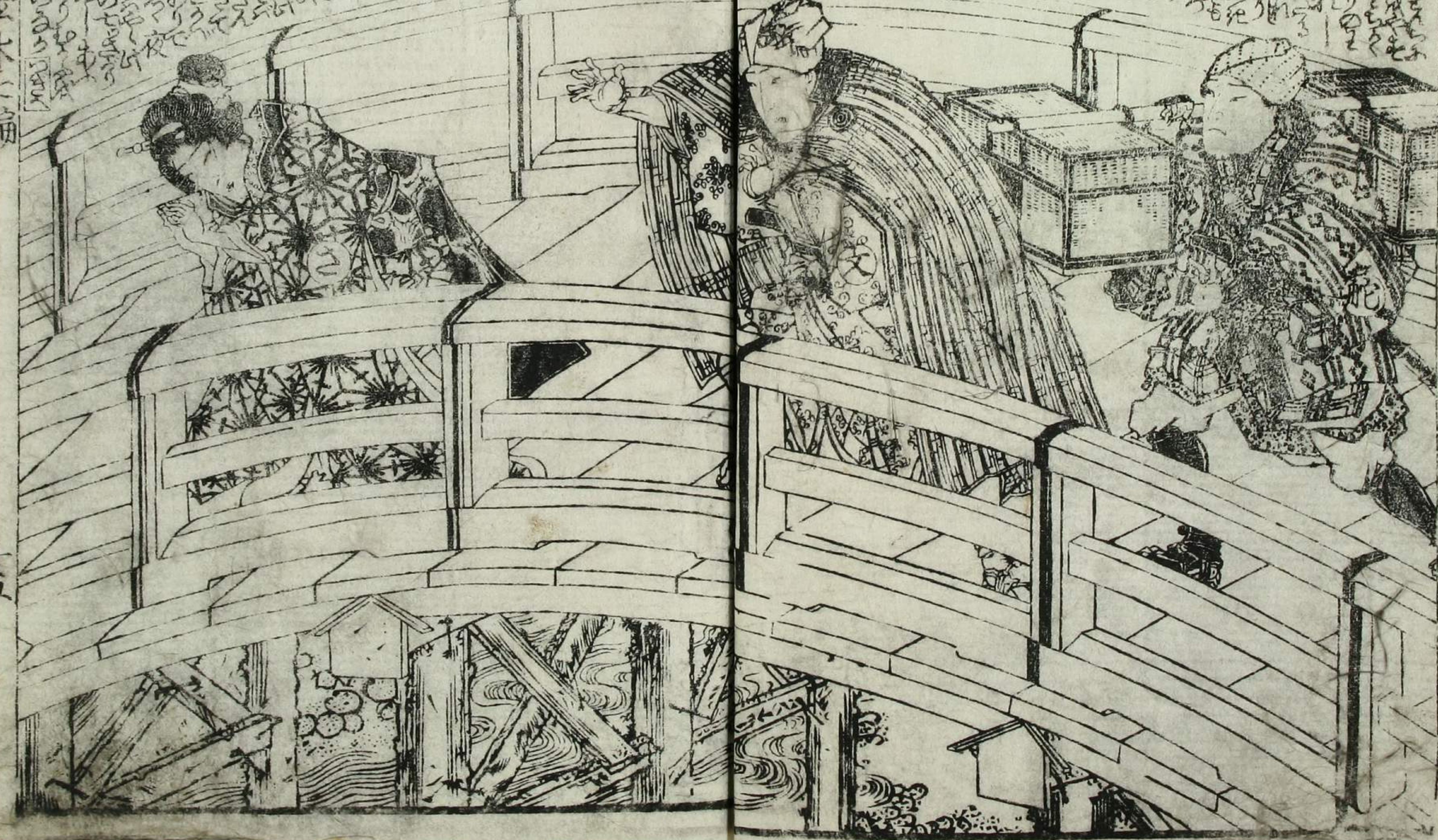
Handwritten Japanese text in the left margin, including the characters '世に' at the top.

Handwritten Japanese text in the right margin, including the characters '世に' at the top.



Vertical Japanese text (kuzushiji) located at the top left of the image, consisting of several columns of characters.

Vertical Japanese text (kuzushiji) located at the top right of the image, consisting of several columns of characters.



Vertical text on the far left margin of the page.

Vertical text on the far right margin of the page.



浪花講  
勢講

土屋八十一編

土屋八十一編



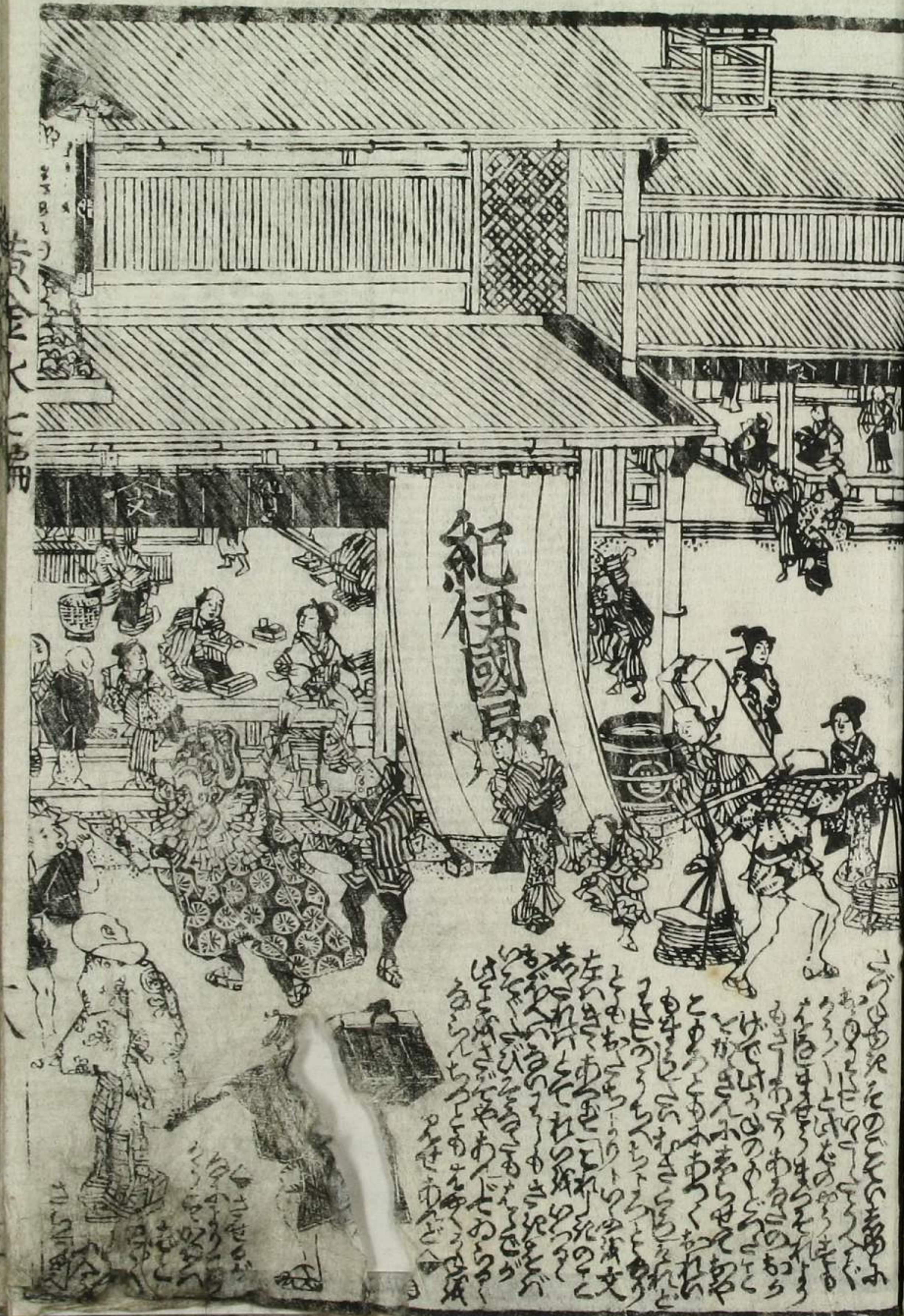
山崎屋

山崎屋

おのれは...

おのれは... 山崎屋... 山崎屋... 山崎屋...

おのれは... 山崎屋... 山崎屋... 山崎屋...





吉金ス...

*[Vertical columns of handwritten text in the upper section of the left page]*

*[Small text box on the left side of the left page]*

*[Vertical text on the right side of the left page]*

*[Vertical columns of handwritten text in the upper section of the right page]*

*[Small text box on the right side of the right page]*

*[Vertical text on the left side of the right page]*



朝牛肉丸一丸  
 ひんげ餅ひんげ餅  
 中身 漆崎氏製

為永春水作一壽齋國貞画

浄書美田  
 洲青



紀文の事跡を編述する。昏の世ふて傳ふことの罕あり。只その口碑も  
 残ること多し。浮説ありぬ。鮮し。夫が中やも北里ふ遊びて百  
 万兩の身代を一時はらひ果し。故の俗のよく知る処もや。文左が  
 廓通ひあはせ。なうと折く。向う人もまきあう。む。然ども僕が  
 億意へ余あも。百万金の身代もはらひ棄る。最易く貨殖難く。一  
 其難きをば。做ふこと。頓智發明の物語。又味もあ。念ひあ。も  
 看官。後の赴向と見せ。せ。口画。遊戯の状。雪の礫の  
 夫。思ひ。外。當。積。と序す。

安政五稔戊午初春

二七 為永春水記



紀文大盡北康を  
雪中遊戯の圖  
絆の後の編み委

黄金小八紙









黄金水ノ鏡



黄金水ノ鏡



東大入

黄金



黄金水八幡



黄金水八幡





古今草子

左の段に記す通り、いよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも



右の段に記す通り、いよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも  
おのれもいよいよおのれもいよいよおのれも



上の巻の... 春水作... 國貞画... 此の巻の... 次巻の...



この巻の... 次巻の... 此の巻の... 次巻の...

春水作 國貞画



この巻の... 次巻の... 此の巻の... 次巻の...

黄金水八...

十



黄金小八餅



黄金小八餅





中  
上

上



中  
上

上









黄金水八編  
 此の湯治は...  
 黄金水八編  
 此の湯治は...  
 黄金水八編  
 此の湯治は...

黄金水八編  
 此の湯治は...  
 黄金水八編  
 此の湯治は...  
 黄金水八編  
 此の湯治は...

黄金水八編  
 此の湯治は...  
 黄金水八編  
 此の湯治は...  
 黄金水八編  
 此の湯治は...

黄金水八編  
 此の湯治は...  
 黄金水八編  
 此の湯治は...  
 黄金水八編  
 此の湯治は...

黄金水八編



黄金水八編



昔金太郎

一七



昔金太郎



富ハ俗の欲するところ。才と云く不才と云く。成其情を尽すなり。然ともその差同トくらむ。適小財をりて者も貪りて飽莫く。財の乏しき身と苦しめ。意と惱まると多う。財ハ一人の財なり。則國の財あるとや。貸さかつか入るとは。又さかつか出るも。余ハ本編綴るところの。紀文が貸殖子長くも。一期ハ保ちが。これ這ハ貪りて飽莫く。那守錢奴の屬ふらむ。臨終

鮮牛肉丸 一包百銅  
 身ハ成補ハある  
 用ハ深崎氏製

爲永春水作 梅蝶樓國貞画

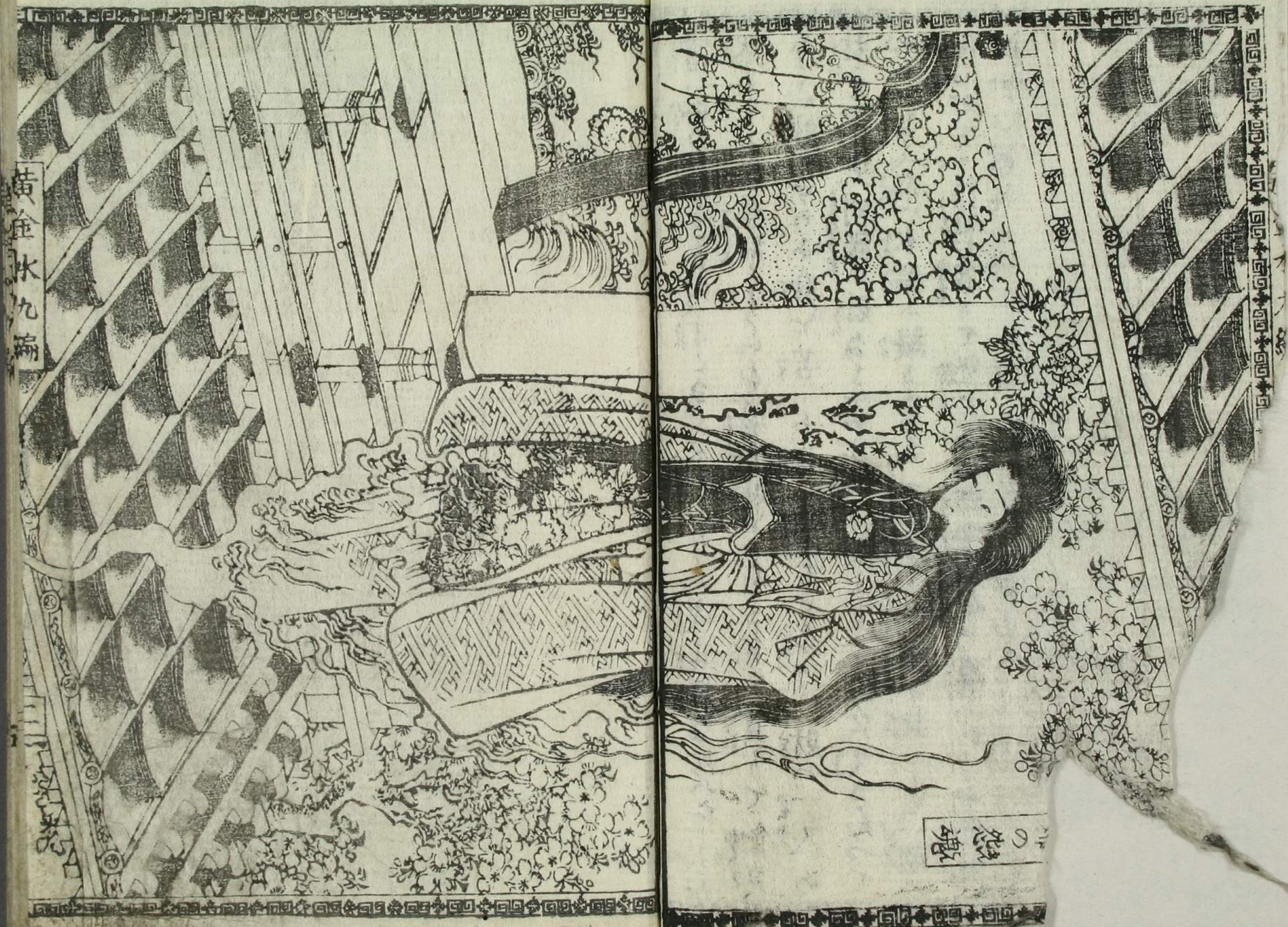


淨書 箕田 洲青

黄金...

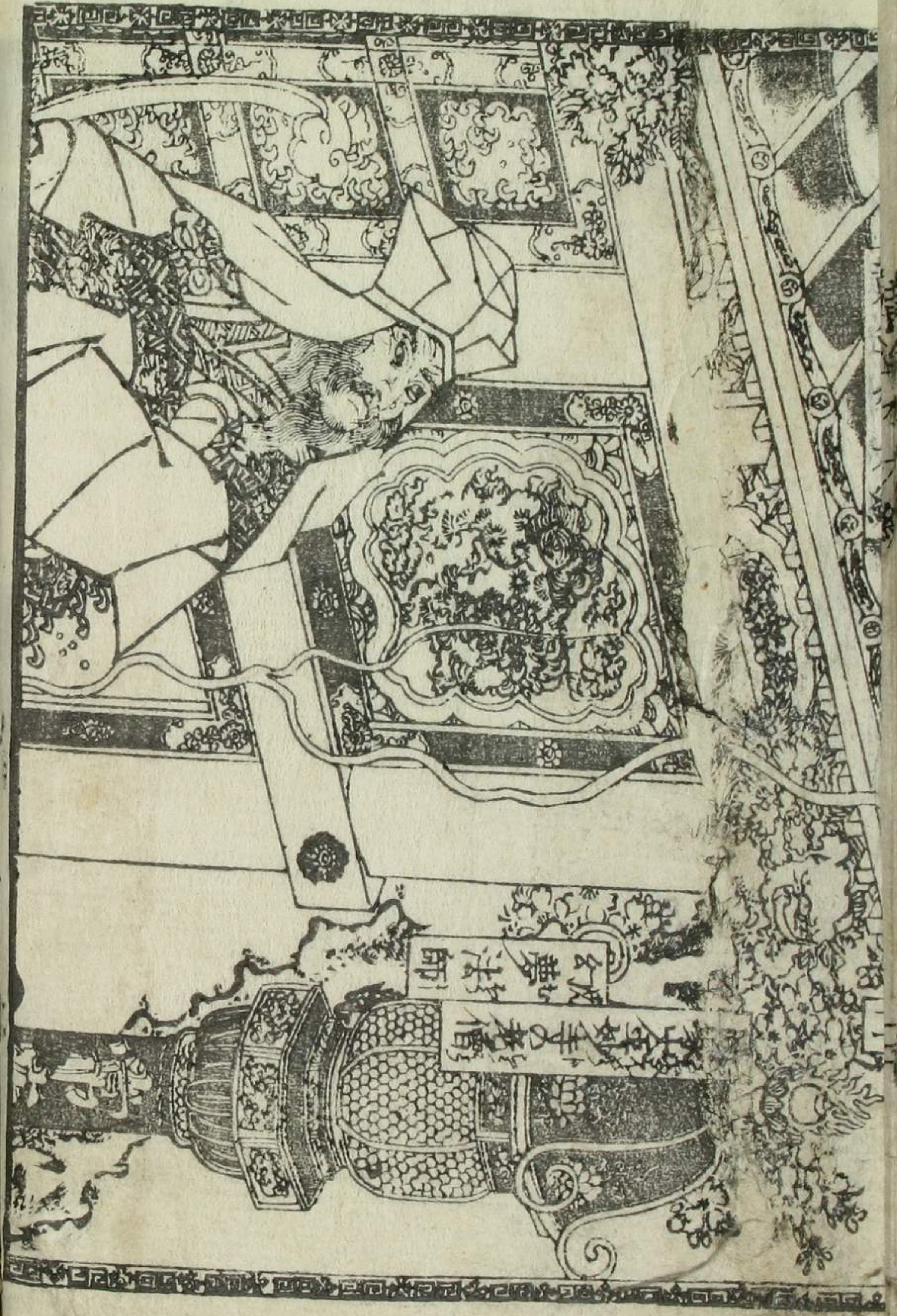
女...

...



黄金林九端

怨の塘



紅樓夢  
金釵子  
法師



唱食  
九

世傳  
之  
理

三





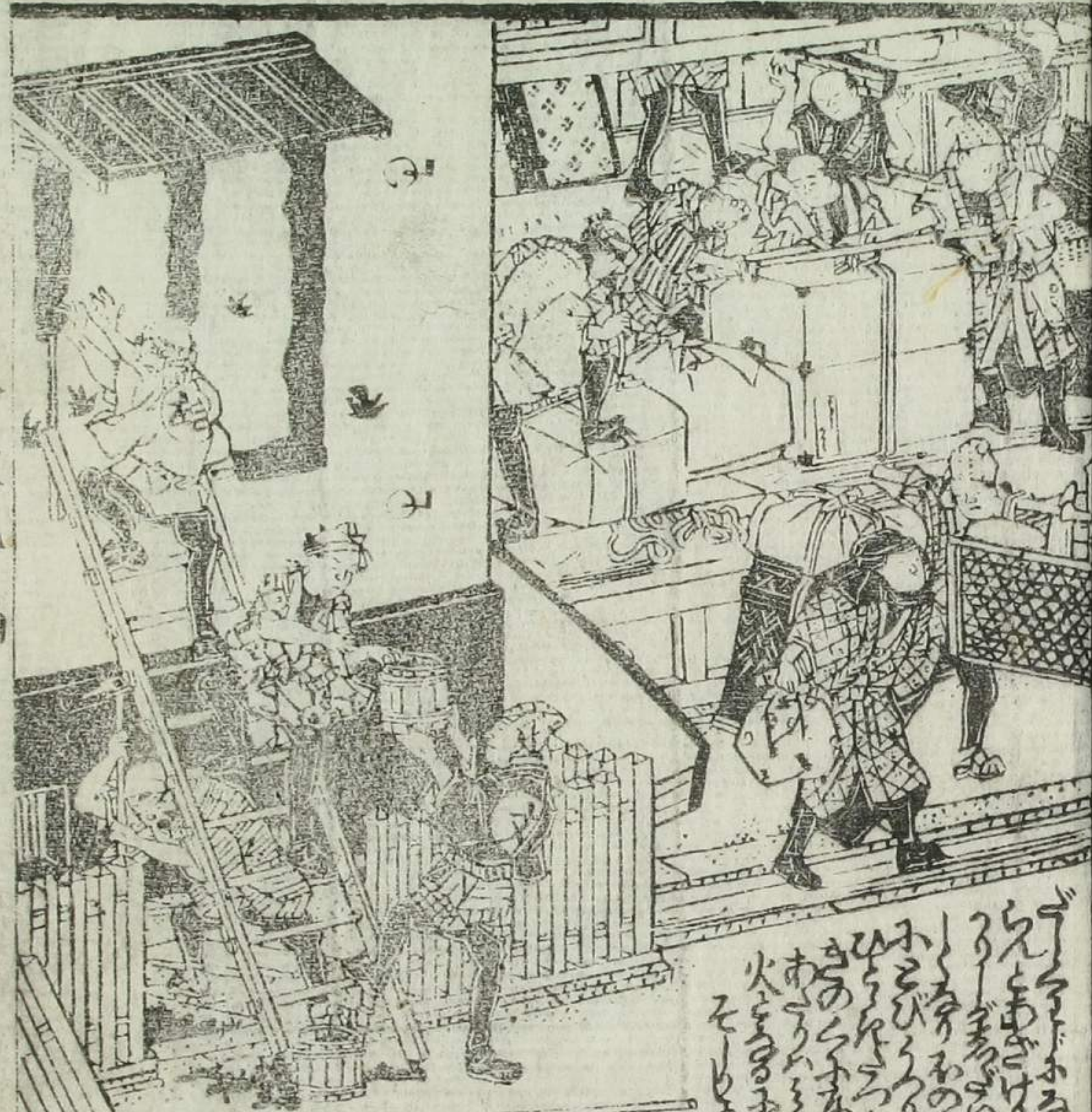




Vertical text on the right edge of the right page, likely a page number or chapter indicator.

五





てをありてうらま  
さるもあつしを  
さればそのうらま  
ても九分とさる  
せちをを一日つぎ

あつしを  
さるもあつしを  
さればそのうらま  
ても九分とさる  
せちををを一日つぎ



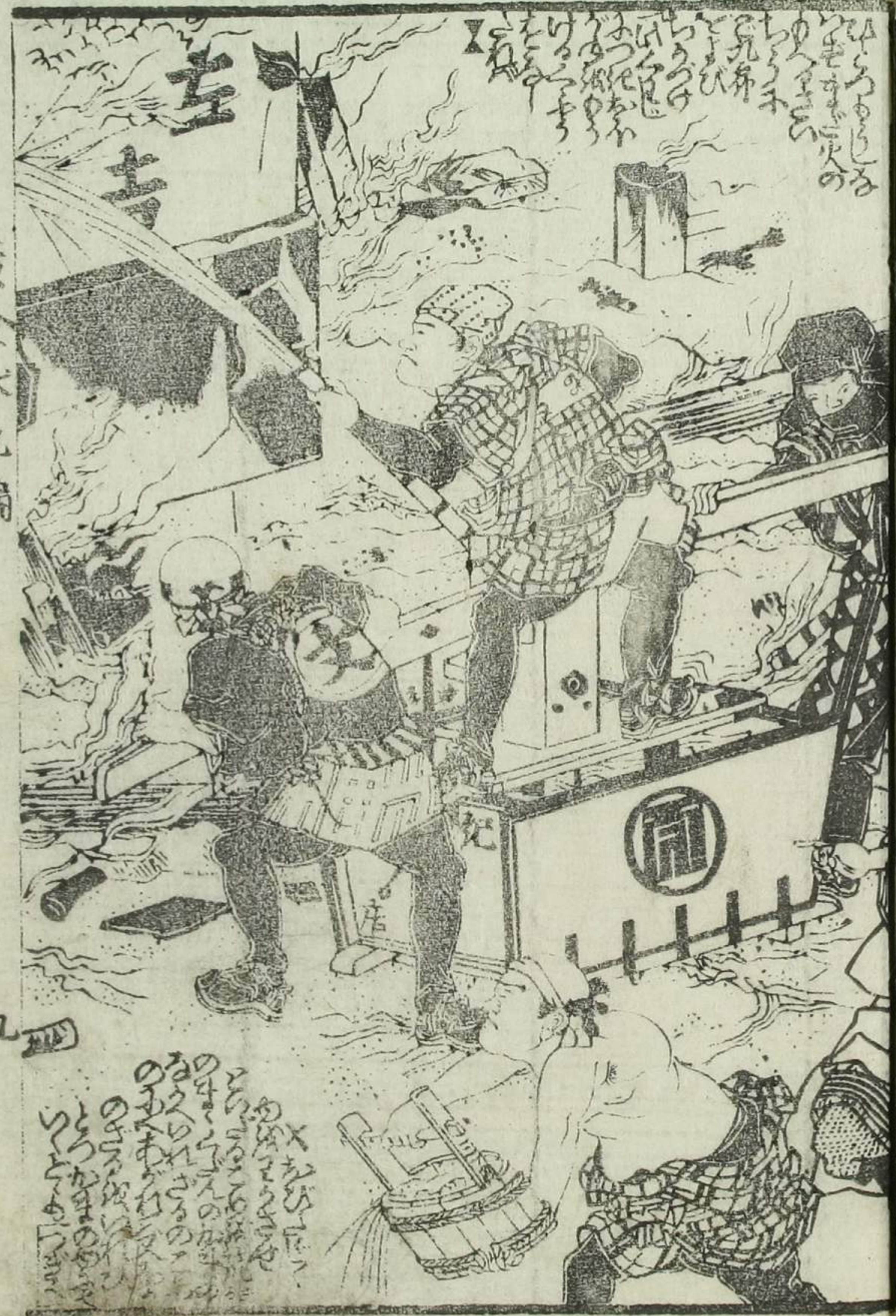
このうらま  
さるもあつしを  
さればそのうらま  
ても九分とさる  
せちををを一日つぎ

あつしを  
さるもあつしを  
さればそのうらま  
ても九分とさる  
せちををを一日つぎ



遠方の出火も文春も  
と運ひ立退く成見て  
衆人嘲りて笑ふ

金  
力  
大  
勢



黄金水九編

九

ひらりひらり  
と風が吹く  
火の煙が  
立ち上る  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから

あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから



あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから

あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから

あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから  
あつちから

黄金水九編

九



春水作



下女... 春水作... 文... 早... 木曾路...

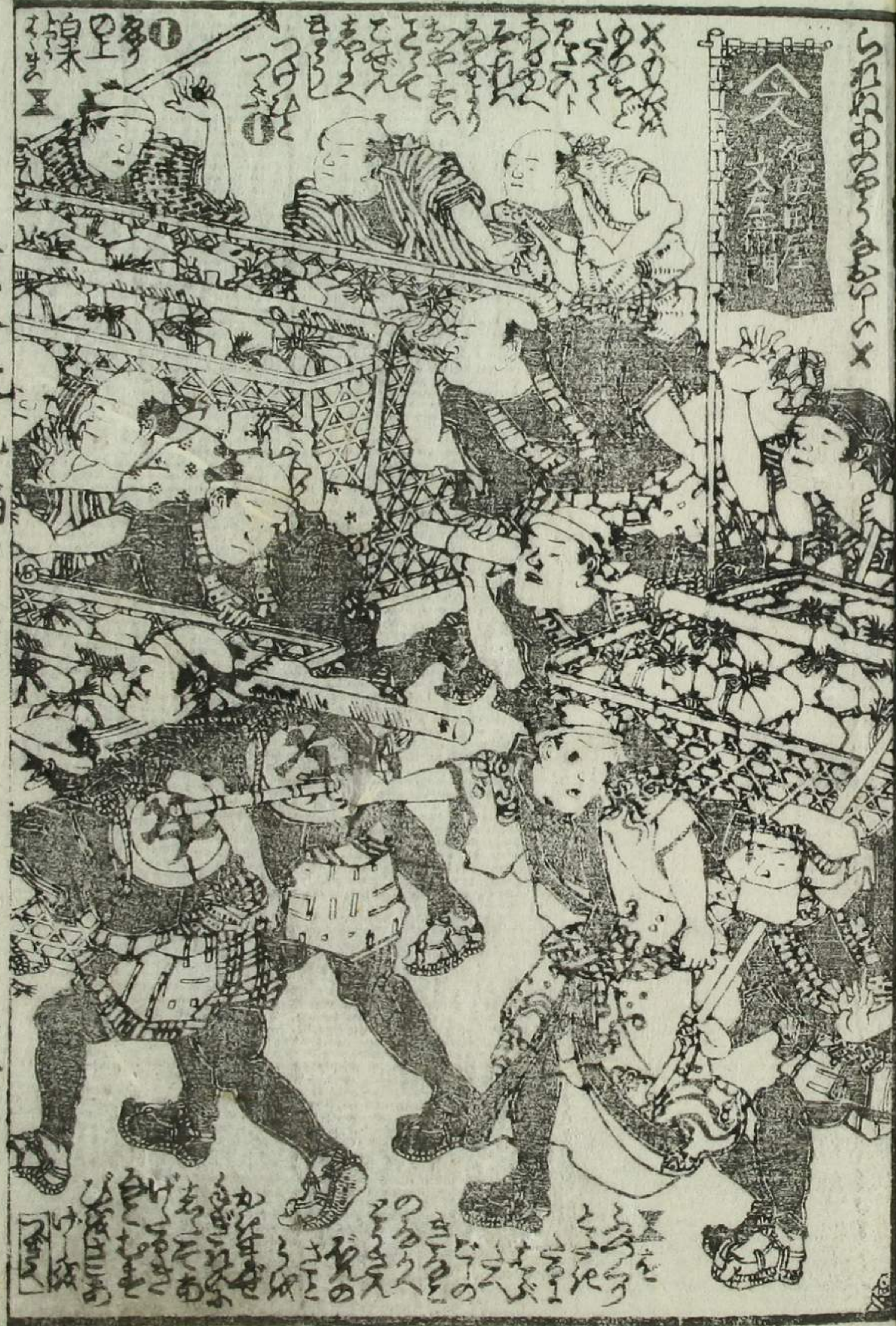
文左が... 早馬... 木曾路... かの... ところの圖... 下の巻...

國貞画



上の巻... 春水作... 文... 早... 木曾路...

下の巻... 春水作... 文... 早... 木曾路...



黄金丸



黄金丸





Vertical text on the left side of the illustration, likely a title or chapter heading.

文  
左  
右  
用  
田  
屋

Vertical text block in the upper right quadrant of the illustration, possibly a dialogue or narrative text.



Vertical text block in the lower right quadrant of the illustration, possibly a dialogue or narrative text.

Vertical text on the right edge of the illustration, likely a title or chapter heading.





山一  
林  
中

山  
林  
中



文左  
中

文左  
中



山ぬー

も代

十



文

控帳

文

文

十













黄っん

おたか

さのづま

ま水化

らみ貞繪

らんを学らたらね

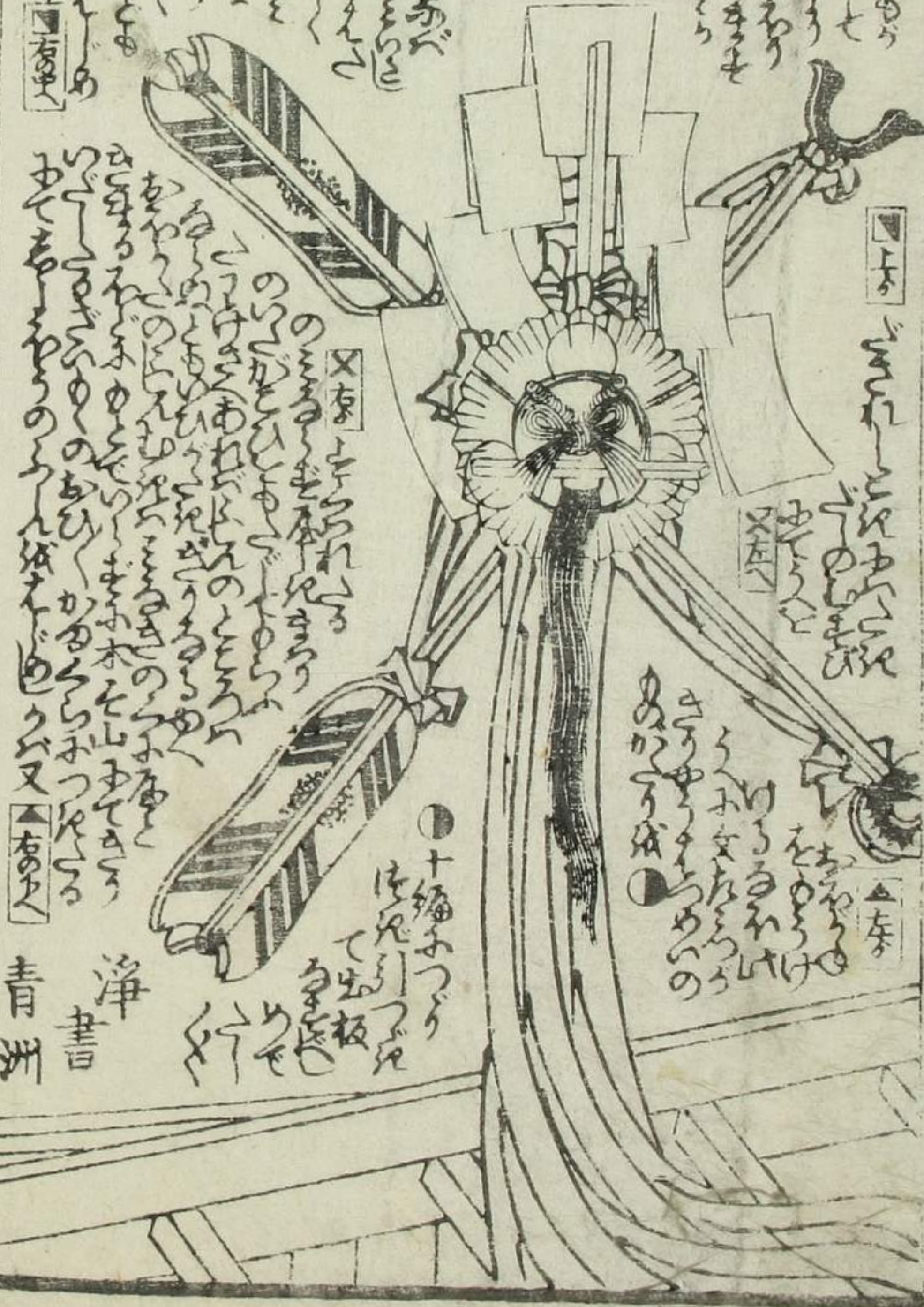
九篇



黄金水九條

うによのせん...  
朝 牛肉九百孔  
解 牛肉九百孔  
牛一ひのばかきまひ  
まふれきまふれ  
のんちりひひよ  
対召 深崎氏製

烏永春水作一壽齋國貞画



朝 牛肉九百孔  
解 牛肉九百孔  
牛一ひのばかきまひ  
まふれきまふれ  
のんちりひひよ  
対召 深崎氏製

又...  
十編...  
浄書  
青洲

